

岩槻市統計書

岩 槻 市

岩槻市民憲章

制定 昭和53年5月3日

太田道灌築城以来、城下町として栄えてきたこの地岩槻市は、古い歴史と美しい自然に恵まれ、今や人形のまち、平和な文化住宅都市として、大きく発展しようとしています。

この郷土に住むわたしたちは、市民であることの自覚と誇りをもち、さらに、美しく調和のある住みよい岩槻にするため、この市民憲章を定めます。

わたしたちは、

1 郷土の歴史と風土をはぐくみ

住みよい岩槻をつくりましょう

1 自然と緑を愛し

美しい岩槻をつくりましょう

1 仕事に誇りと信念を持ち、

楽しい岩槻をつくりましょう

1 自己啓発と教養を高め

すぐれた岩槻をつくりましょう

1 道徳と規則を守り

明るい岩槻をつくりましょう

刊行にあたって



ここに平成12年版『岩槻市統計書』を刊行いたします。

この統計書は、岩槻市の土地・人口・教育・行政など各分野から基本的な統計資料を総合的に収録し、市勢の現状及び推移を明らかにしようとするものです。

本書が、各種行政施策の推進はもとより、より多くの市民の皆様の参考資料として広くご活用いただければ幸いです。

なお、編集にあたりましては、最新の資料をできるだけ多く収集し、内容の充実に努めましたが、不十分な点は、今後とも皆様方のご意見をいただきながら、より一層の充実に努めてまいりたいと考えております。

本書の刊行にあたり、貴重な資料をご提供していただきました関係各位に対し、厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年6月

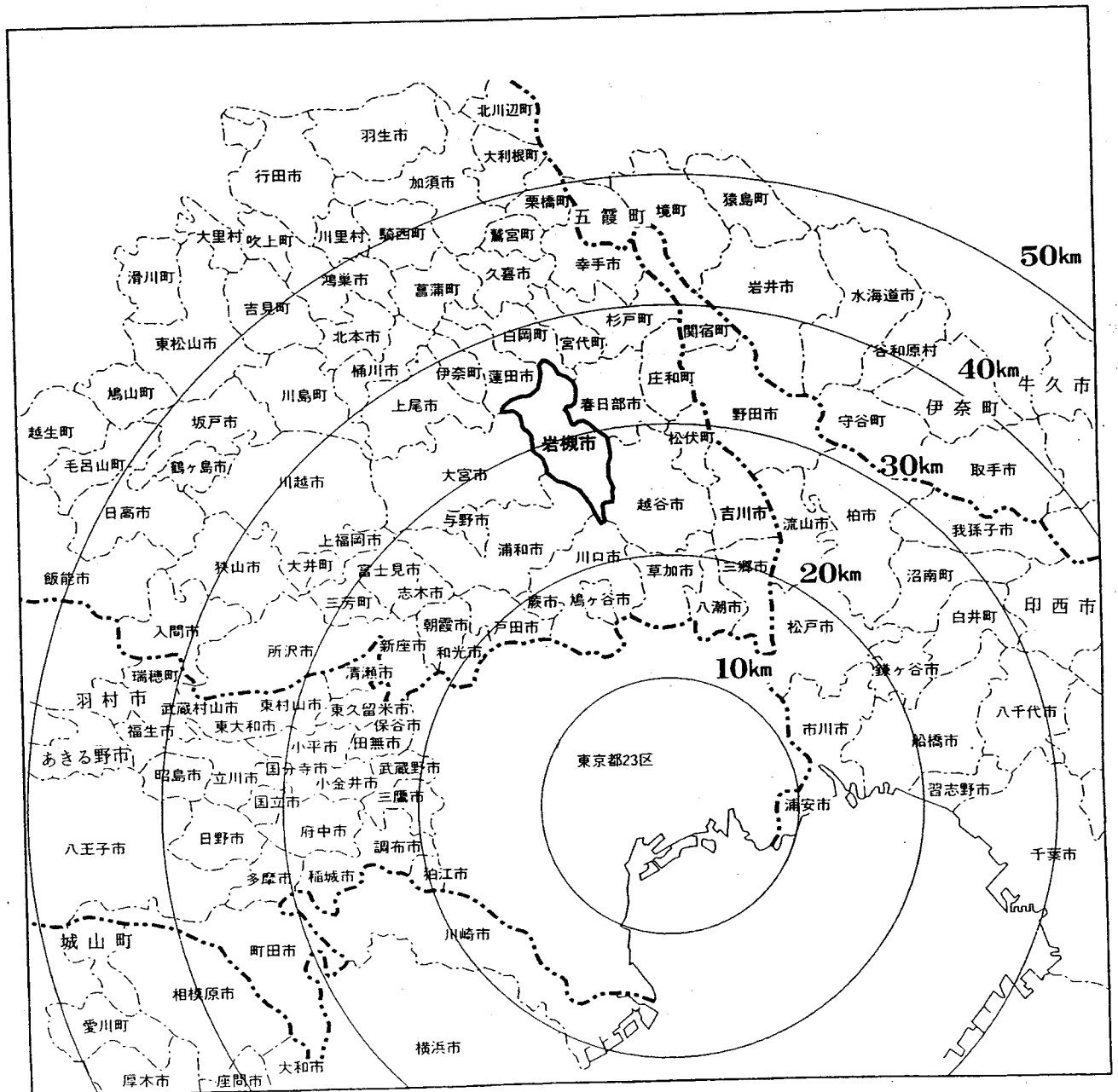
岩槻市長 佐藤 征治郎

岩槻市の地勢・位置

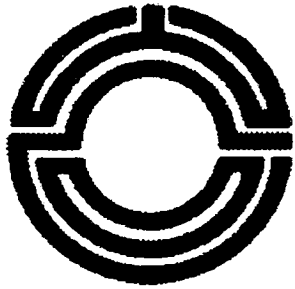
本市は、埼玉県の東部、東京へ30km（電車で約1時間）以内の地に位置し、南北に約14.8km、東西に約4.9kmの長方形をなし、東は春日部市、越谷市、西は大宮市、南は川口市、浦和市、北は蓮田市、白岡町に接している。

土地は東部西部に北西から南東へ流れる元荒川、綾瀬川の2川を有し、丘陵性の台地と平坦地とからなる緑豊かな市である。

交通は、東武野田線と国道16号線が東西に平行し、国道122号線と東北自動車道が南北に貫通する要衝の地である。



市のシンボル



市章 岩槻の岩にて中央のツキ（満月）を囲む。

制定昭和30年10月1日

自然を愛する緑と花の美しい都市づくりを進めるため、本市の象徴として「市の花」「市の木」が昭和52年4月1日に制定されました。



市の花

やまぶき……野山に自生する落葉低木で結実する。太田道灌ゆかりの八重咲きは栽培品種で結実しない。



市の木

つき……けや木の古名、けや木はすでに県木となっているので本市では万葉時代の雅名「つき」を用いた。